

科目番号：AE13G82

科目名：日本文学とその特質演習Ⅱ

担当教員：葛西太一

成績評価方法：①演習発表 50%、②授業参加 10%、③学期末レポート 40%

成績評価基準：

	A+ (90点以上)	A (80～89点)	B (70～79点)	C (60～69点)	D (60点未満)
①-A：文献探索能力 (20%)	注釈書や工具書の扱い方が優れて適切であり、明瞭な根拠に基づく解釈を明確に示すことができる。	注釈書や工具書の扱い方が適切であり、根拠に基づいた解釈を大過なく示すことができる。	注釈書や工具書の扱い方を理解し、不十分ながら根拠に基づいた解釈を示すことができる。	注釈書や工具書の扱い方に問題はあるが、部分的には根拠に基づいた解釈を示すことができる。	注釈書や工具書の扱い方が不適切であり、提示された解釈の根拠が示されていない。
①-B：論理的思考力 (20%)	矛盾や飛躍のない一貫した筋道に支えられた、複数の立場から理解され得る力強い主張を提示することができる。	一貫した筋道に基づく説明によって、複数の立場から理解され得る穏当な主張を提示することができる。	説明の一部に矛盾や飛躍を含んではいるが、自身の考えに基づいた主張を提示することができる。	説明の一部に矛盾や飛躍が見受けられ、他者から理解を得られるような主張の提示ができていない。	必要十分な説明がなされず、他者から理解を得られるような主張の提示ができていない。
①-C：課題解決能力 (10%)	自らの問題意識に基づいて課題を設定し、問題の本質を見極めたうえで、独創性のある考察を提示することができる。	自らの問題意識に基づいて課題を設定し、順当な手続きを経て、問題の本質に迫り得る考察を提示することができる。	課題の設定に新見は含まれないものの、順当な手続きを経て、概ね納得のできる考察を提示することができる。	課題の設定に無理があるため、問題の本質に迫ることができず、納得のできる考察を示すことができていない。	課題の設定に無理があり、提示された考察に発表内容との関連性を見出すことができない。
②授業参加 (10%)	他者の発表内容や発言を深く理解したうえで、自らの疑問を積極的に投げかけ、相手	他者の発表内容や発言に即して、自らの疑問を積極的に投げかけ、相手と問題意識を	他者の発表内容や発言に関心を示し、求めに応じて疑問を投げかけ、相手との議論に	他者の発表内容や発言を受けて疑問を投げかけるが、相手と問題意識を共有するこ	他者の発表内容や発言を理解することができず、相手に疑問を投げかけることがで

	の課題解決に資することができる。	共有することができる。	参加することができる。	とができていない。	きない。
③ - A : 文章構成能力 (20%)	過不足のない正確な説明によって、違和感なく文章内容を理解させ、自身の主張や立場を力強く伝えることができる。	順序立てた説明によって、概ね違和感なく文章内容を理解させ、自身の主張や立場を伝えることができる。	説明の一部に不足があるものの、自身の主張や立場を伝えることができる。	工夫のない漫然とした説明となっているため、自身の主張や立場を完全には伝えることができていない。	必要十分な説明がなされず、論旨が整理されていないため、何を主張しているのか伝えることができていない。
③ - B : 批判的思考力 (20%)	複数の文献ないし文化的事象を比較検討することにより、相対的な分析・評価に基づいた独自の考察を示すことができる。	複数の文献ないし文化的事象を提示することにより、特定の解釈に偏ることのない穏当な考察を示すことができる。	複数の文献ないし文化的事象を提示するが、主観を含みながらも一定の客観的な考察を示すことができる。	複数の文献ないし文化的事象を提示するものの、客観的な考察を示すことができていない。	複数の文献ないし文化的事象を比較検討することなく、客観的な考察を示すことができていない。